『サウンド・オヴ・ミュージックとその編曲について』

大 輪 公 壱

‘The Sound of Music：A Comparative Analysis of Arrangements for Mixed Chorus’

Koichi Owa

目 次

1. はじめに
2. 作曲者、楽曲解説及び譜例
3. おわりに
付、参考文献表

１．はじめに

英国の詩人、ギルバート（W.S.Gilbert,1836 ～ 1911）及び作曲家サリヴァン（Arthur Sullivan,1842 ～ 1900）に始まるいわゆるミュージカルの歴史－その中で 1950 年代、アメリカにおけるミュージカル､その２つの偉業はやはり「マイ･フェア･レディ」(1956)と「ウェスト・サイド・ストーリー」（1957）であろうか＿＿＿。

前者は F. ロウ（Frederick Loewe,1901 ～ 1988）が、後者はバーンスタイン（Leonard Bernstein,1918 ～ 1990）が音楽を書き、後年 1960 年代に共に映画化された。

1907 年、レハール（Franz　Lehár,1870 ～ 1948）の「メリー・ウィドー」がアメリカ初演され、ドイツ生まれのハーバート（Victor Herbert,1859 ～ 1924）亡き後、バーリン（Irving Berlin,1888 ～ 1989)、S. ロンバーグ（Sigmund Romberg,1887 ～ 1951)、カーン（Jerome　Kern,1885～1945)､またユーマンス(Vincent Youmans,1898～1946)やポーター（Cole　Porter,1891 ～ 1964）そして天才ジョージ・ガーシュウィン（George　Gershwin, 1898 ～ 1937）等がその前後に活躍する中「サウンド・オヴ・ミュージック」は生まれ、特に映画（1965）は空前の大ヒットを放った。

ちなみに 1960 年代に作られた代表的なミュージカル映画は次のとおりである。

ウエスト・サイド・ストーリー（1961）
シェルブールの雨傘（1964）
マイ・フェア・レディ（1964）
メリー・ポピンズ（1964）
サウンド・オヴ・ミュージック（1965）
オリバー！（1968）
ファニー・ガール（1968）

２．作曲者、楽曲解説及び譜例

リチャード・ロジャース（Richard Rodgers,1902 ～ 1979）はアメリカの作曲家で、ドイツ系ユダヤ人の家系に生まれた。特に作詞家ロレンツ・ハート及びオスター・ハマースタインⅡ（Oscar Hammerstein Ⅱ,1895 ～ 1960）とのコンビで数多くのミュージカル作品を残した。

映画「サウンド･オヴ･ミュージック」は 1965 年に製作されたロバート･ワイズ（Robert Wise,1914 ～ 2005）監督によるミュージカル映画で、その内容は第二次世界大戦前夜オーストリアのザルツブルグを舞台に、修道女見習のマリアが夫トラップ大佐と共にドイツ軍から逃れるため、家族を連れて逃亡先のスイスへと向かうといったものである。

配役はマリアがジューリー・アンドリュース（Julie Andrews,1935 ～)、トラップ大

佐役はクリストファー・プラマー（Chritopher Plummer,1929 ～）が務めた。

ここでは映画中から１）サウンド・オヴ・ミュージック、２）ドレミの歌、３）エーデルワイス、４）すべての山に登れ　の４曲を選び、独唱を含む混声四部合唱への編曲を試みた。次に各曲の簡単なアナリーゼと解説、そして譜例を示す。

１）サウンド・オヴ・ミュージック

Molto moderato ヘ長調　4/4

18 小節間の序奏部に続いて合唱がテュッティで「丘は何千年も歌い続けてきた音楽の響きにあふれ生きている・・・・・」と歌い始めると、そこへソプラノ独唱のオブリガートが対位法的に絡み合う。全体は、序奏～ A ～ B ～ A’～コーダから成る複合三部形式であるが、特に A’部分でのピアノ伴奏部は早いパッセージのスケールと分散和音とで楽曲の頂点を華麗に形成する。

２）ドレミの歌

Allegretto　ハ長調　2/4

8 小節間の序奏部の後ソプラノとアルトとがユニゾンで歌いはじめ、それらは次第に 2 声から 3 声、そして 4 声へと広がっていく。

全体は序奏～ A ～ A’～ B（冒頭へリピート）～コーダといった構成で、B 部分では A における主題音型は拡大・縮小されながらポリフォニックに各声部にからみ合う。尚、原歌詞 * とは異なって流布している日本語版は歌手ペギー・葉山（森繁子 ,1933 ～ 2017）によるものである。下記へは原詩及び筆者の拙訳を示した。

*Doe,a deer,a female deer
Ray, a drop of golden sun
Me,a name I call myself
Far,a long long way to run
Sew,a needle pulling thread
La, a note to follow sew
Tea, I drink with jam and bread
That will bring us back to do.

ドはディアー　メスの鹿
レ（レイ）は輝く太陽のしずく
ミ（ミー）は自分を呼ぶ名前
ファ（ファー）は遠く長い道のり

ソ（ソー）は縫い糸を引っ張る針
ラはソ（ソー）の次の音
シ（ティー）は紅茶、ジャムとパンのお供
さあはじめのドに戻りましょう
（大輪公壱　訳）

3）エーデルワイス

Moderato　変ロ長調　3/4

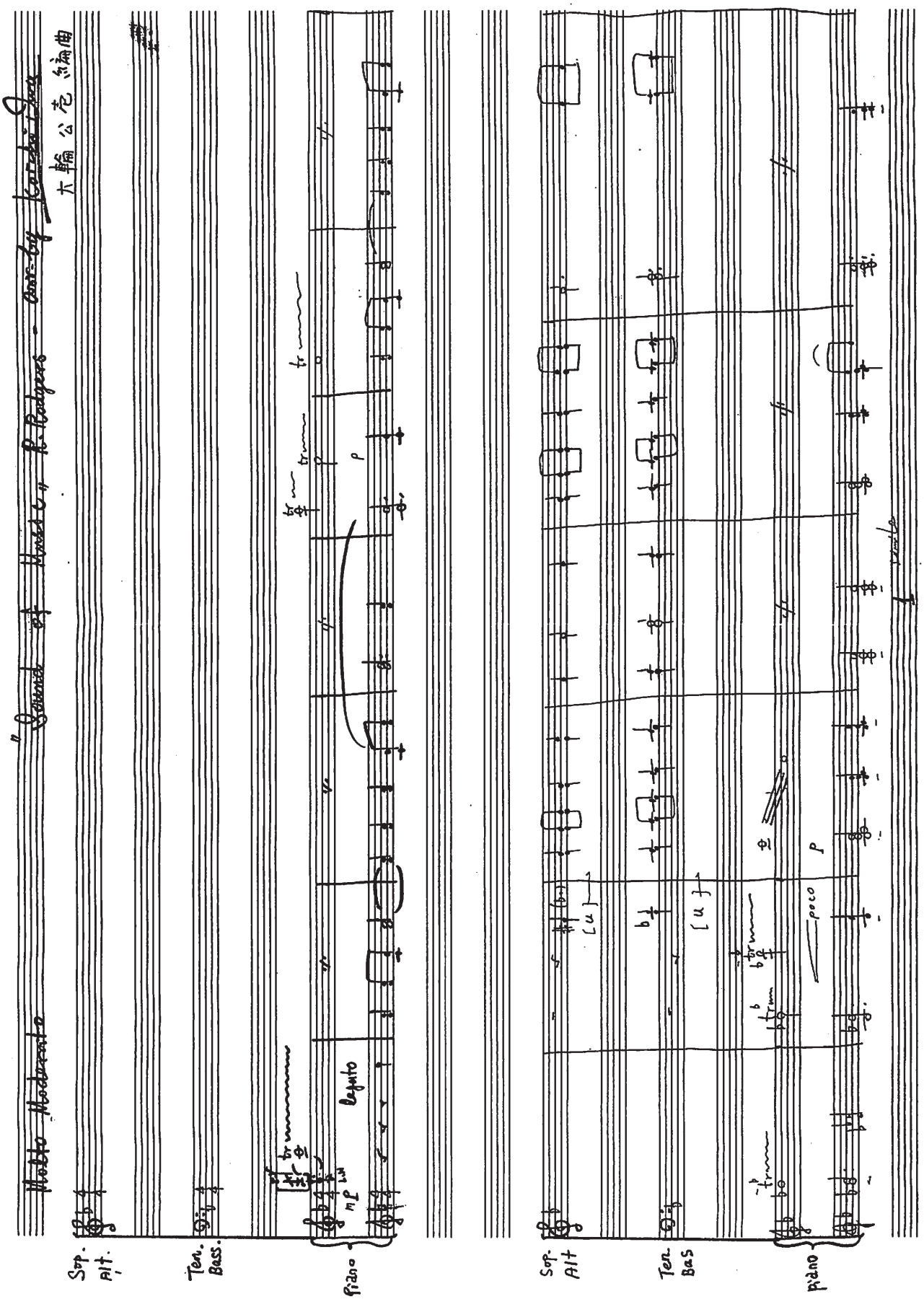
エーデルワイスとは「気高き白」（独）といった意味の植物名であるが、ここではその花を称えて歌われている。

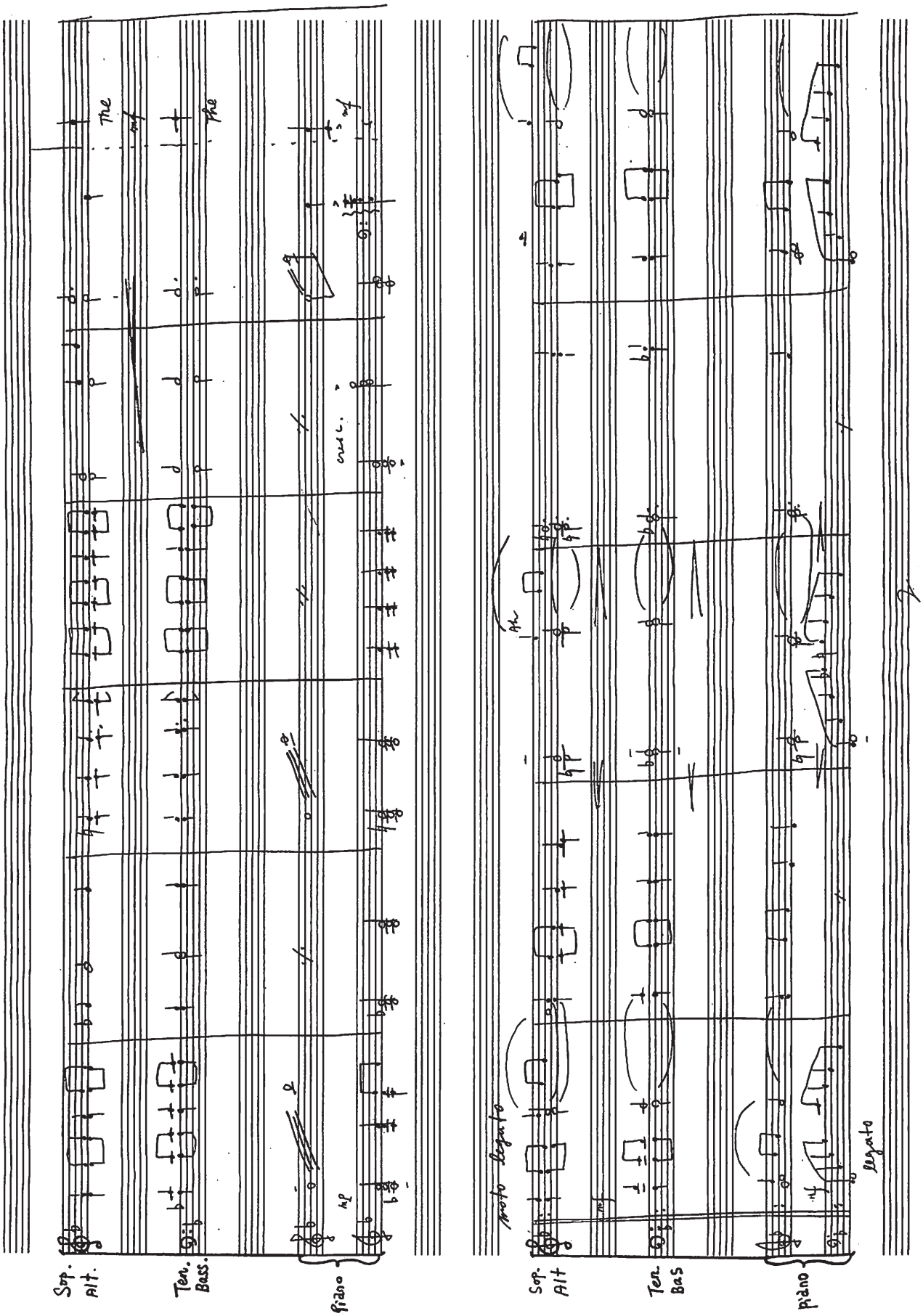
4小節間の序奏部の後、テノールのソロが「エーデルワイスよ、朝日に映えて…」と歌い始めると続いて他の声部がハミングでテノールを支える。原曲は序奏～Ａ～Ｂ～Ａから成る三部形式であるが、ここでは2回目に楽曲全体が長2度上のハ長調へと転調、再びハミングによって原調である変ロ長調へとかえると、おしまいのコーダではヴォカリーズ唱法によってffのうちに華やかな終止をみせる。

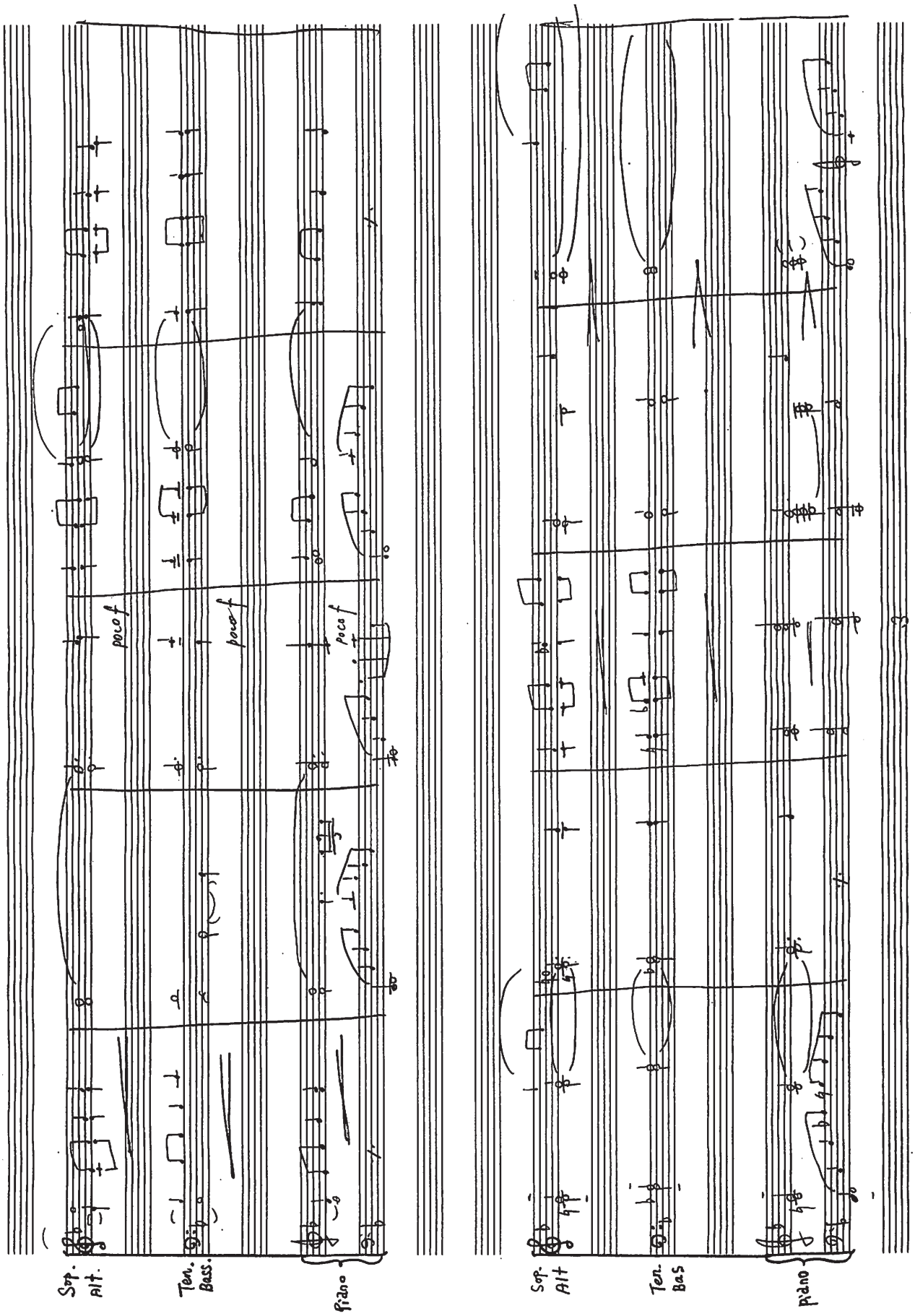
4）すべての山へ登れ

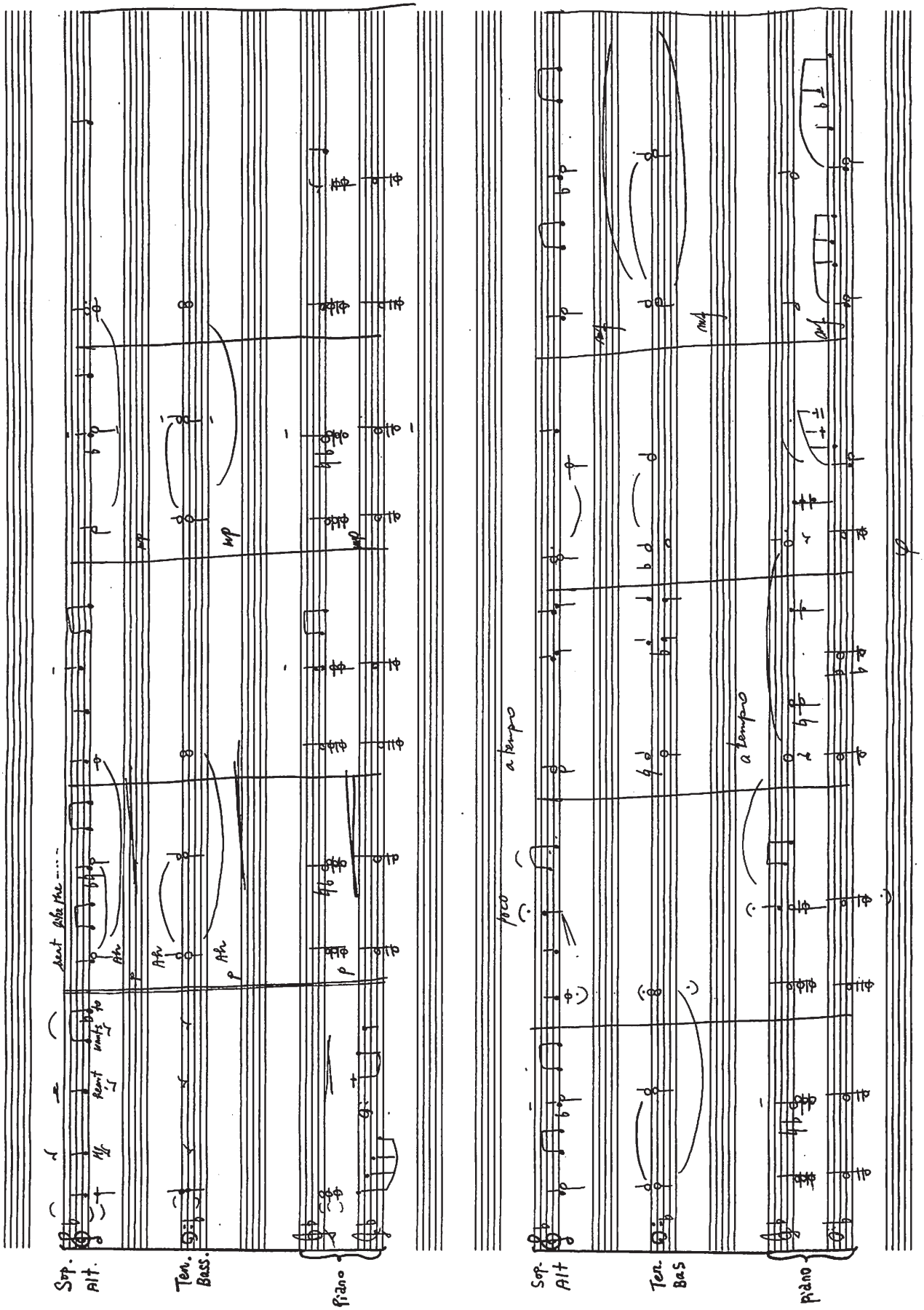
Maestoso[Andante quasi adagietto] ハ長調　4/4

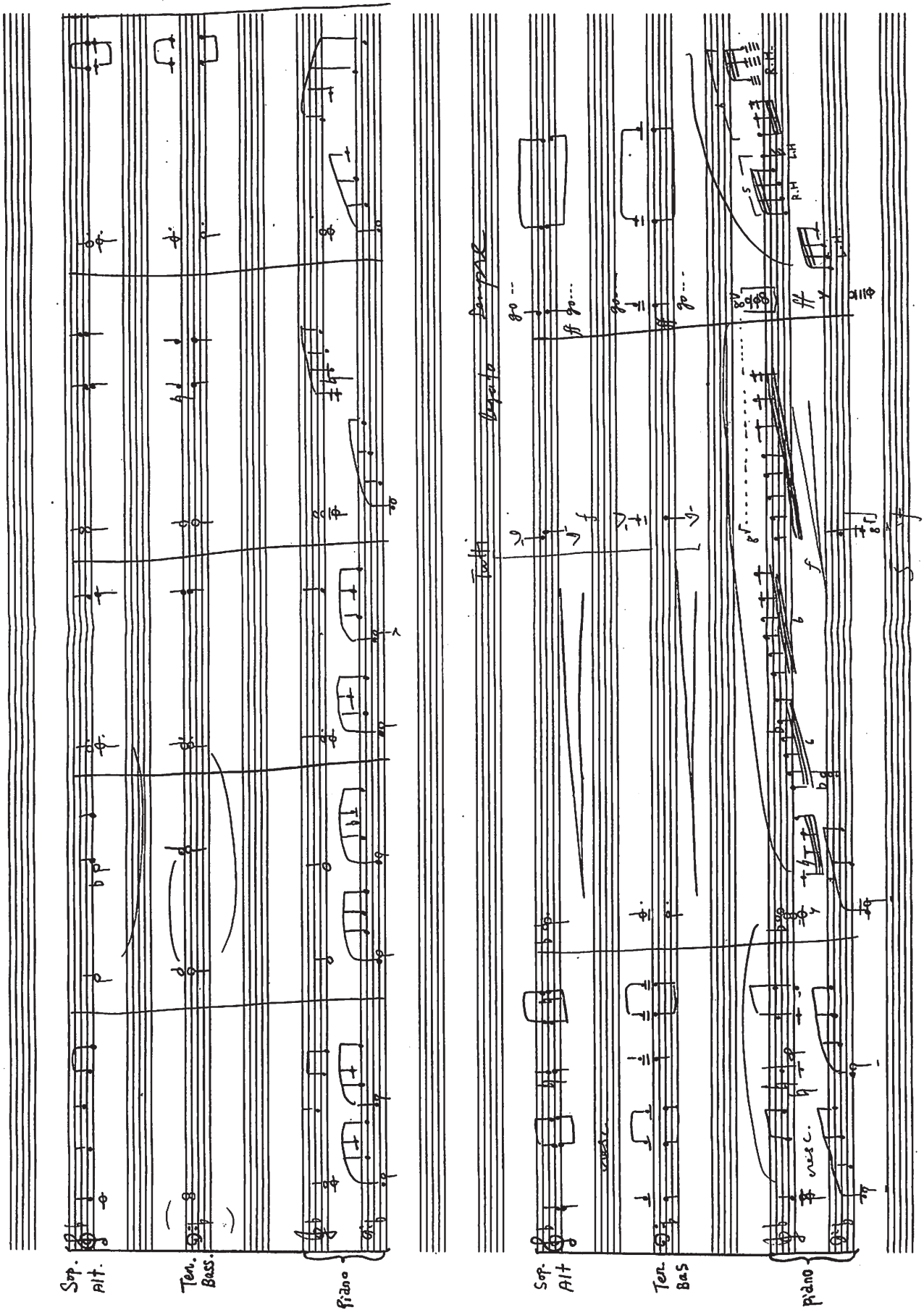
2小節間の序奏部の後、バス（バリトン）ソロが「登れ山に、すべての…」と歌い始めると、続くフレーズでは他の声部がヴォカリーズによってバス(バリトン)を支える。ちなみにこの旋律はリディア調風であるとともに、主和音は長～短三和音へと微妙な変化をみせる。全体は序奏～Ａ～Ａ’～Ｂ～Ａ”～コーダといった構成であるが特にＢ部分では主旋律に第1曲目「サウンド・オヴ・ミュージック」の主題Ａがオブリガート的二重対位法風に絡み合うのが特徴である。

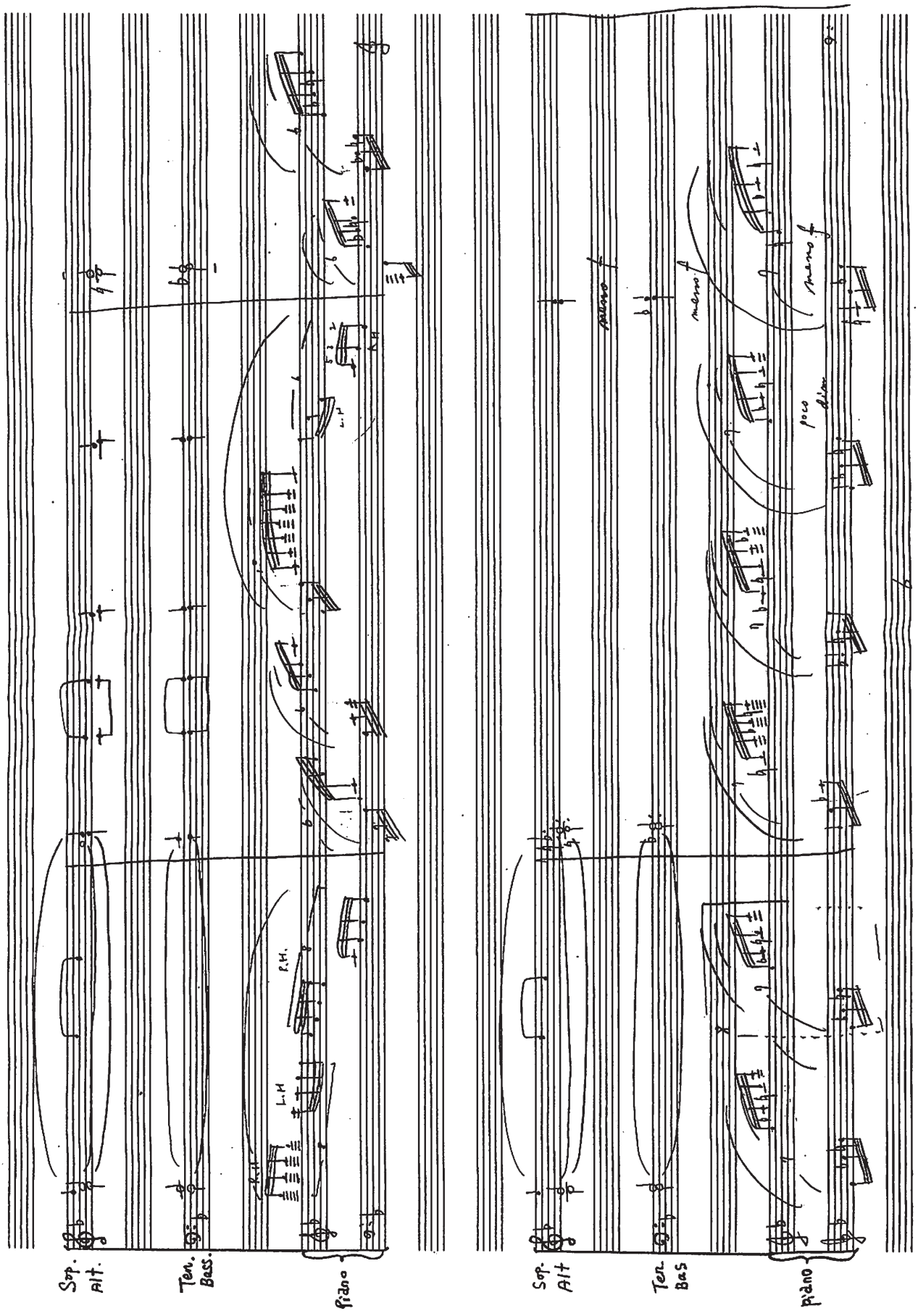

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano
poco

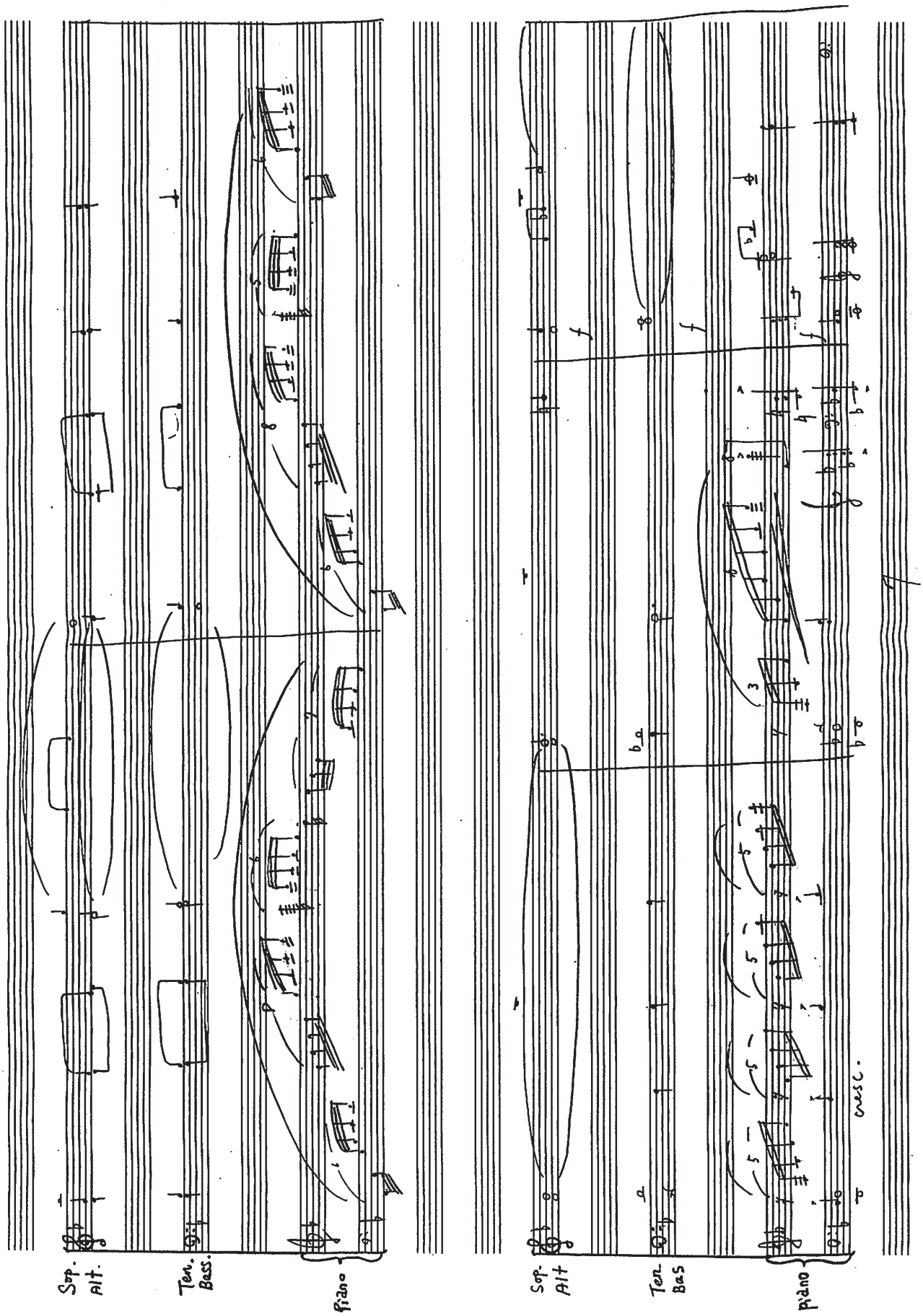

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano

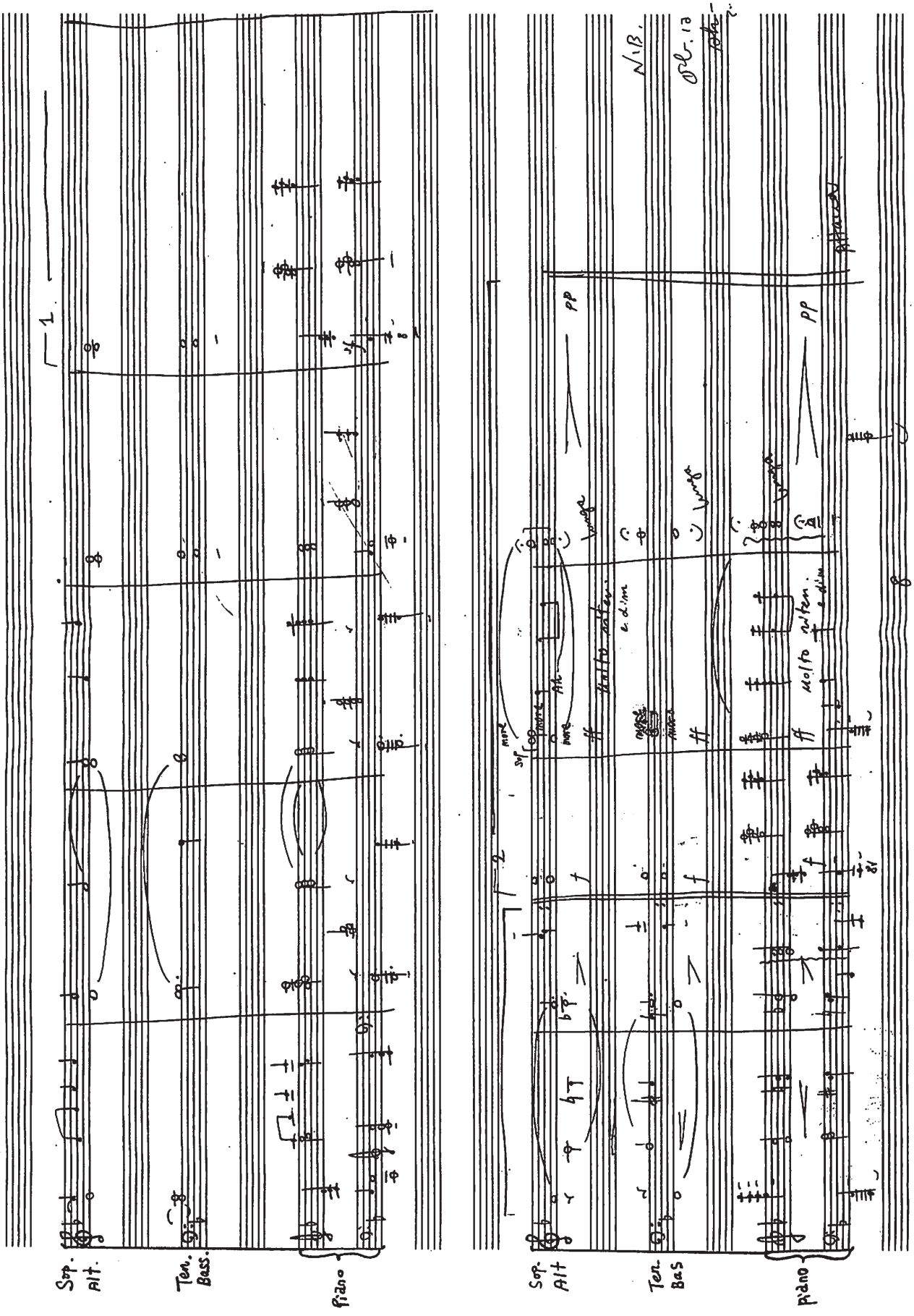

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
poco f
poco f
poco f
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano

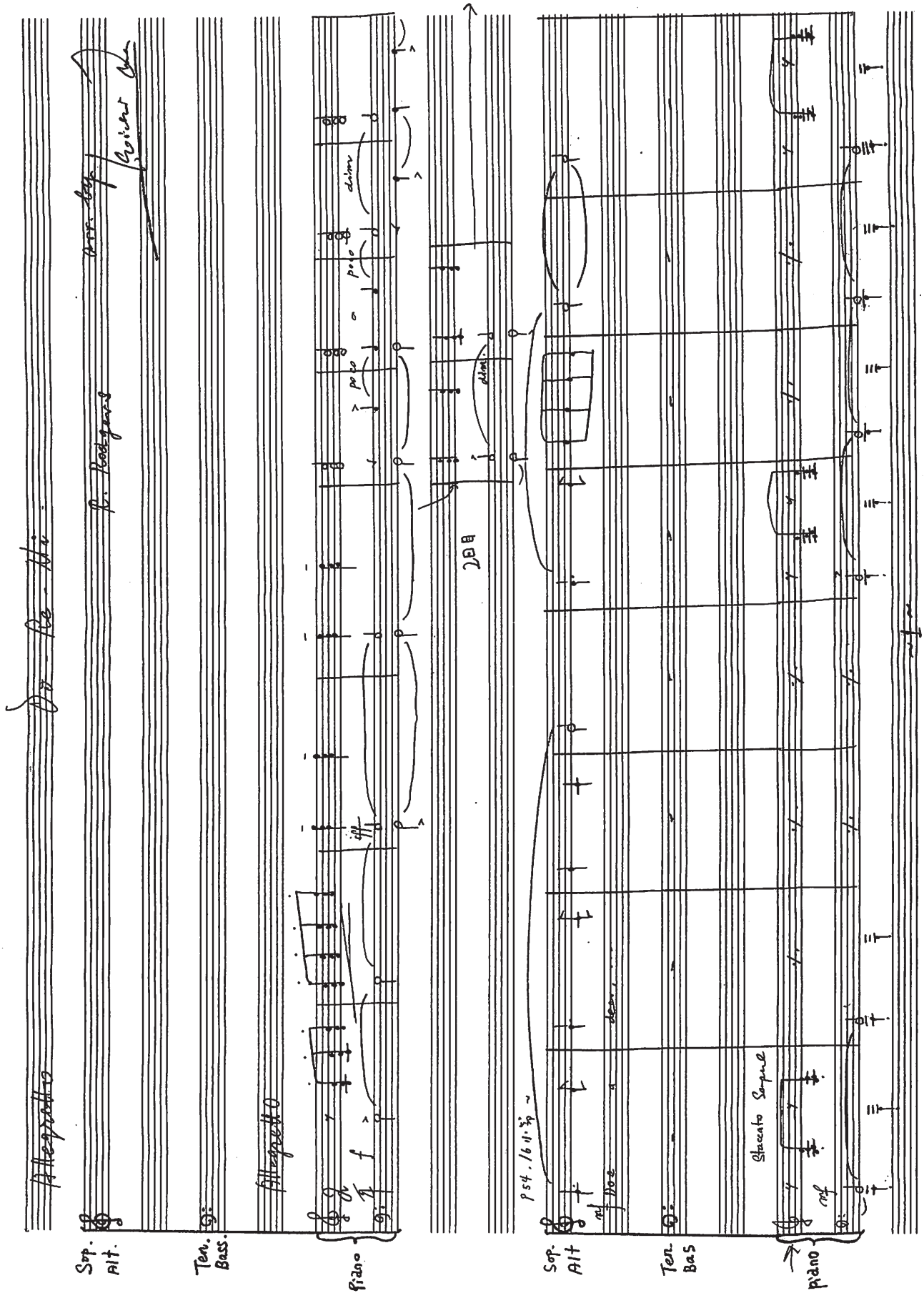

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano
a tempo
poco a tempo

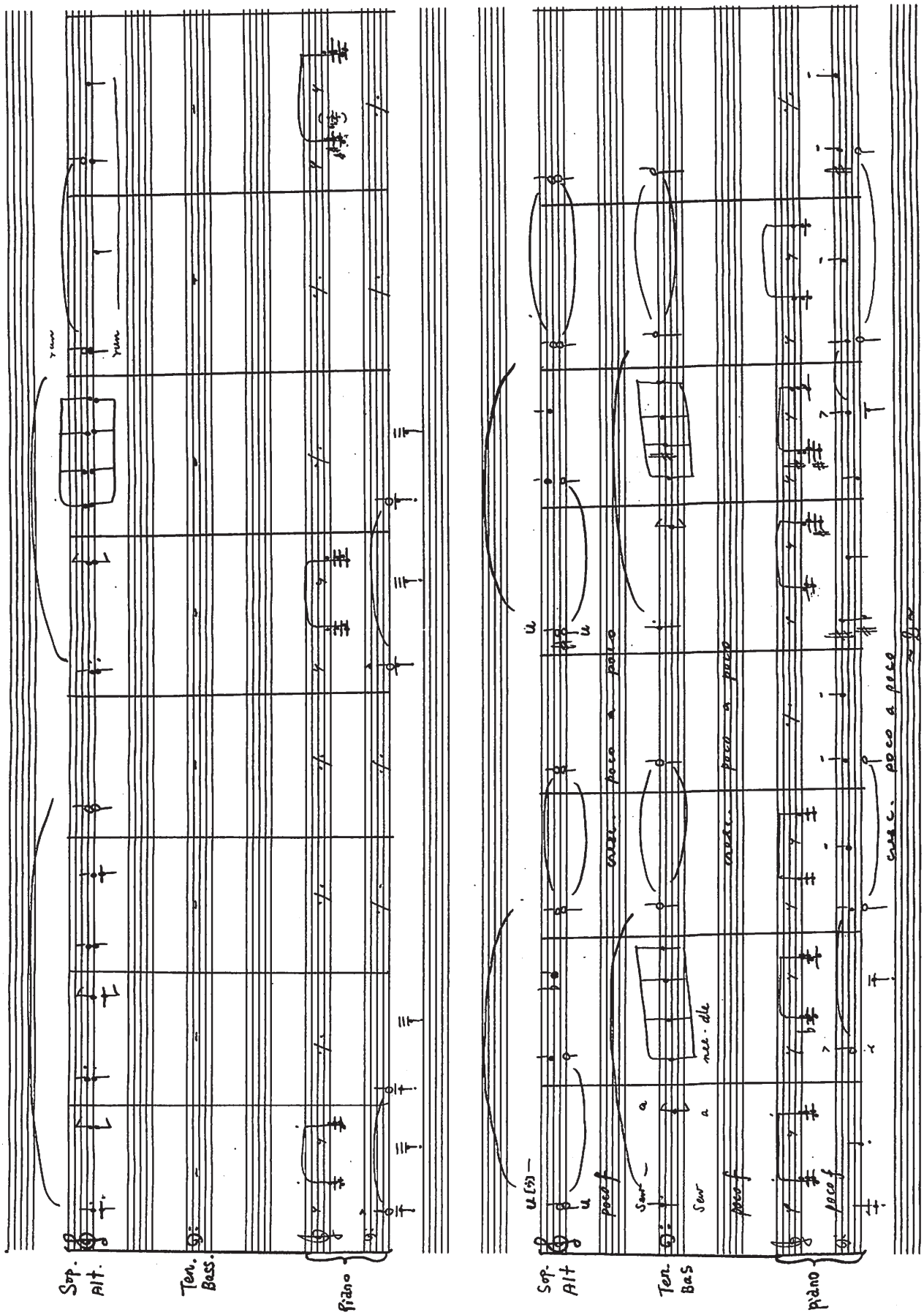

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano

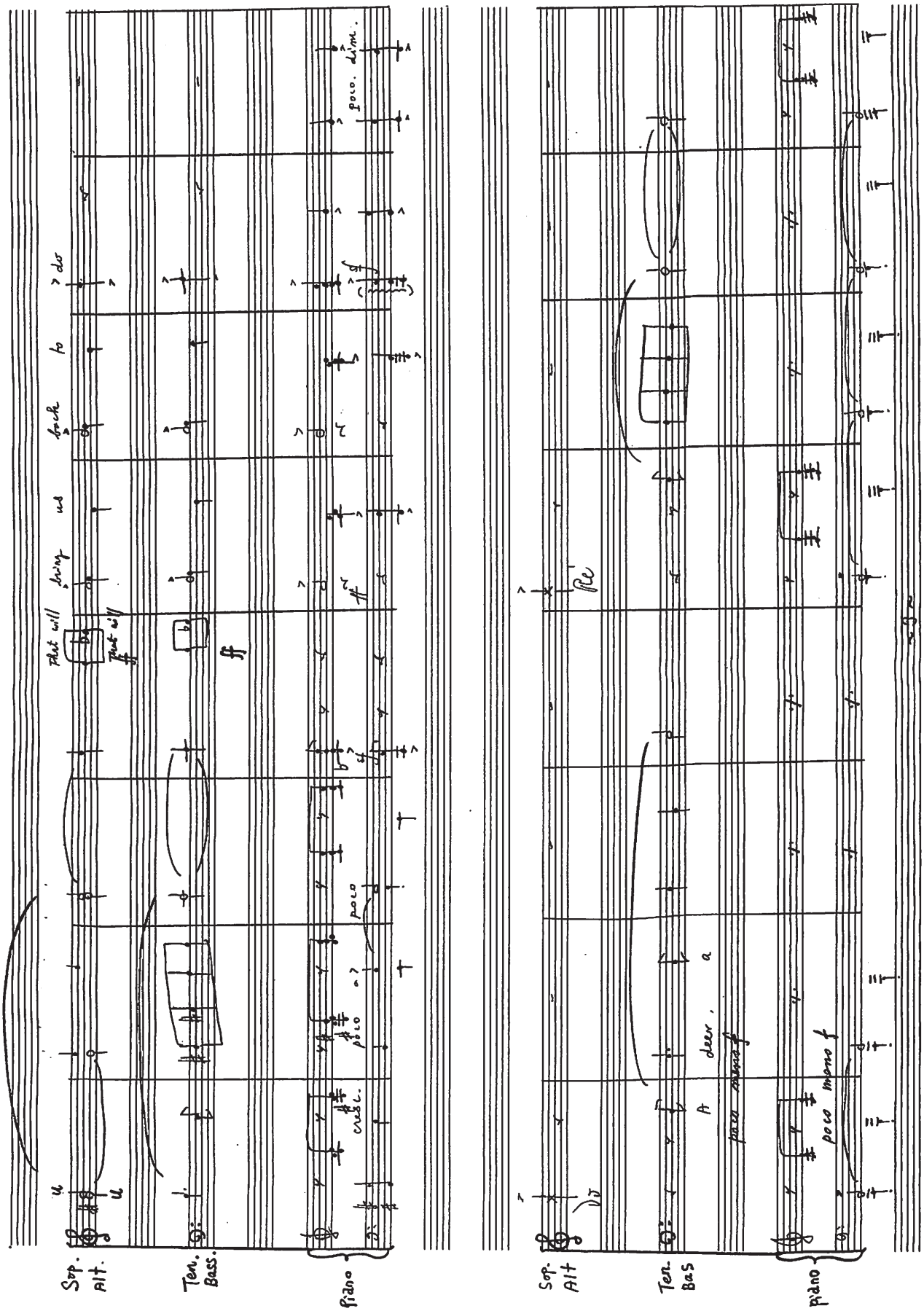

Sop. Alt.
Ten. Bass.
Piano
R.H.
L.H.
Sop. Alt
Ten. Bas
Piano
meno f
poco dim

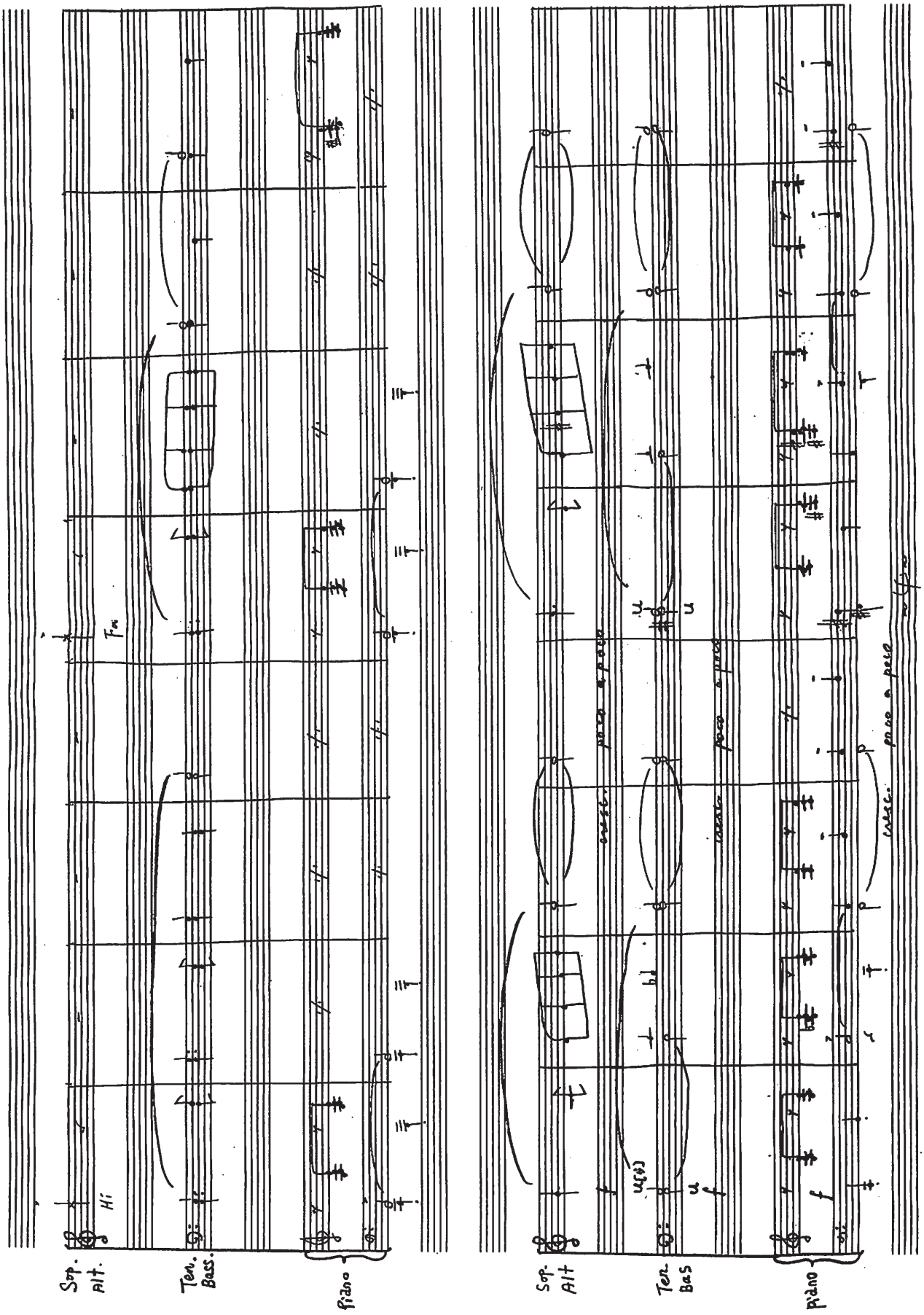

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano
cresc.

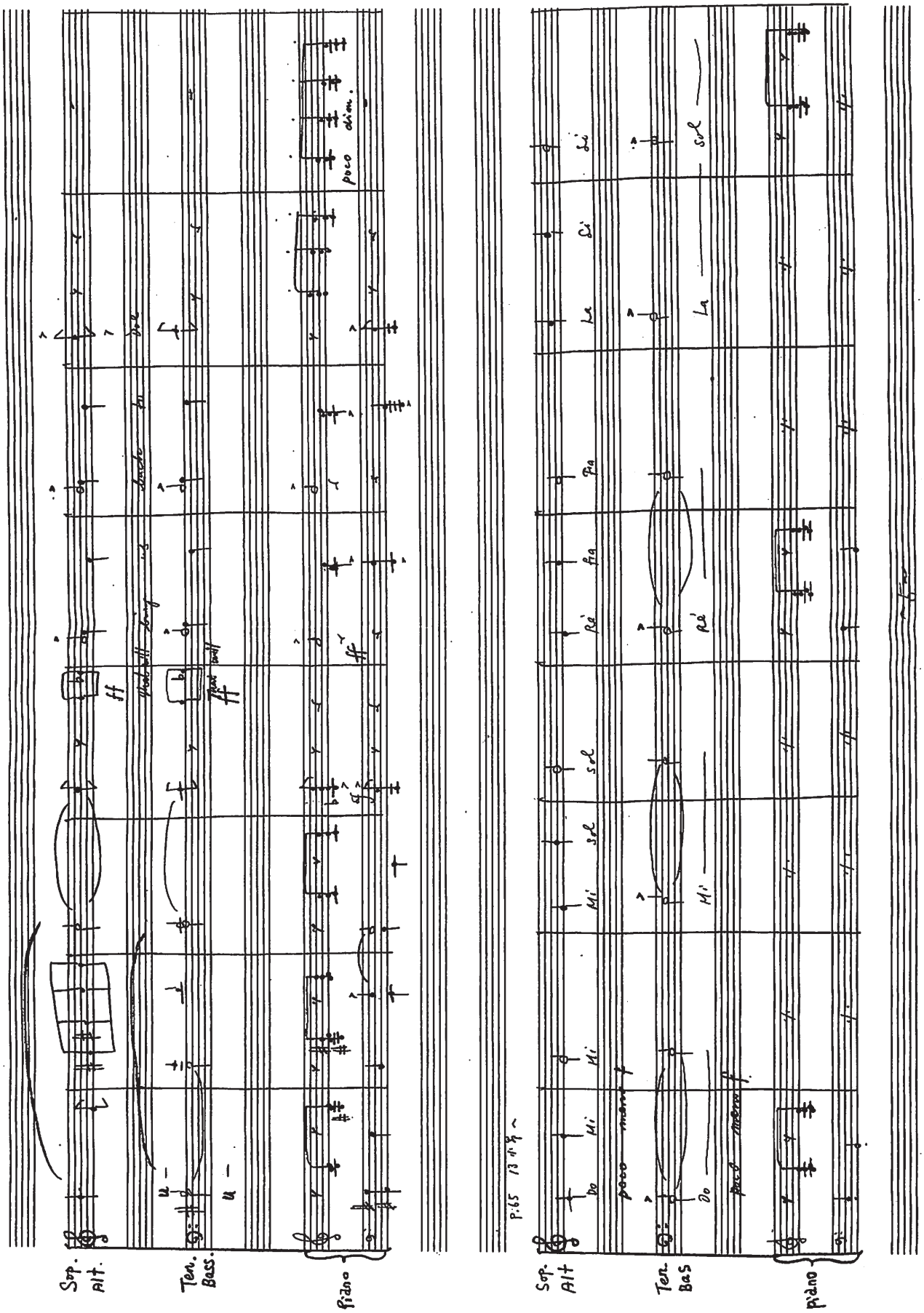

Sop. Alt.
Ten. Bass.
Piano
Sop. Alt
Ten. Bas
Piano
molto riten.
e dim
pp
pp

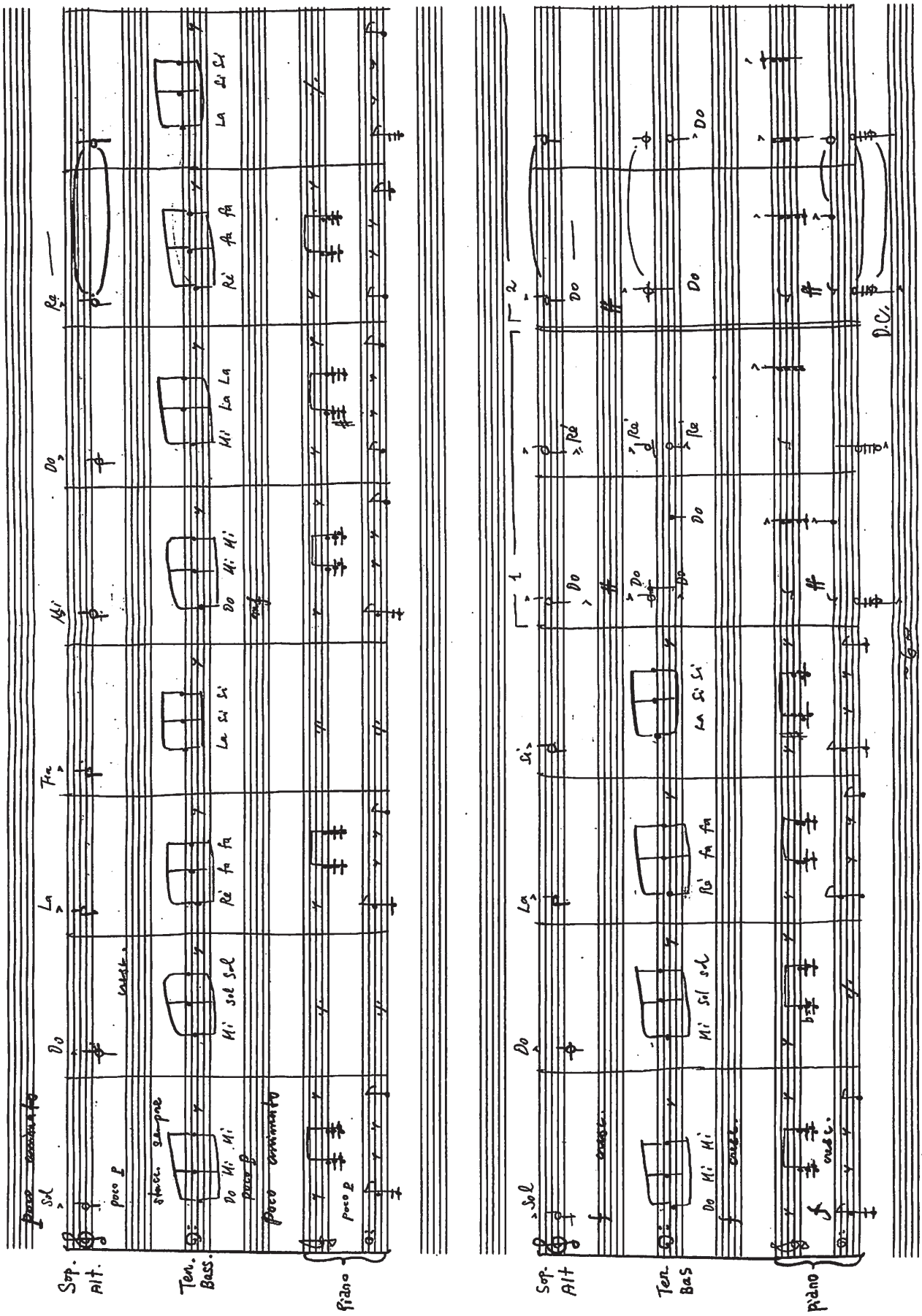

Sop. Alt.
Ten. Bass.
Piano
Sop. Alt
Ten. Bas
Piano
Staccato Sempre

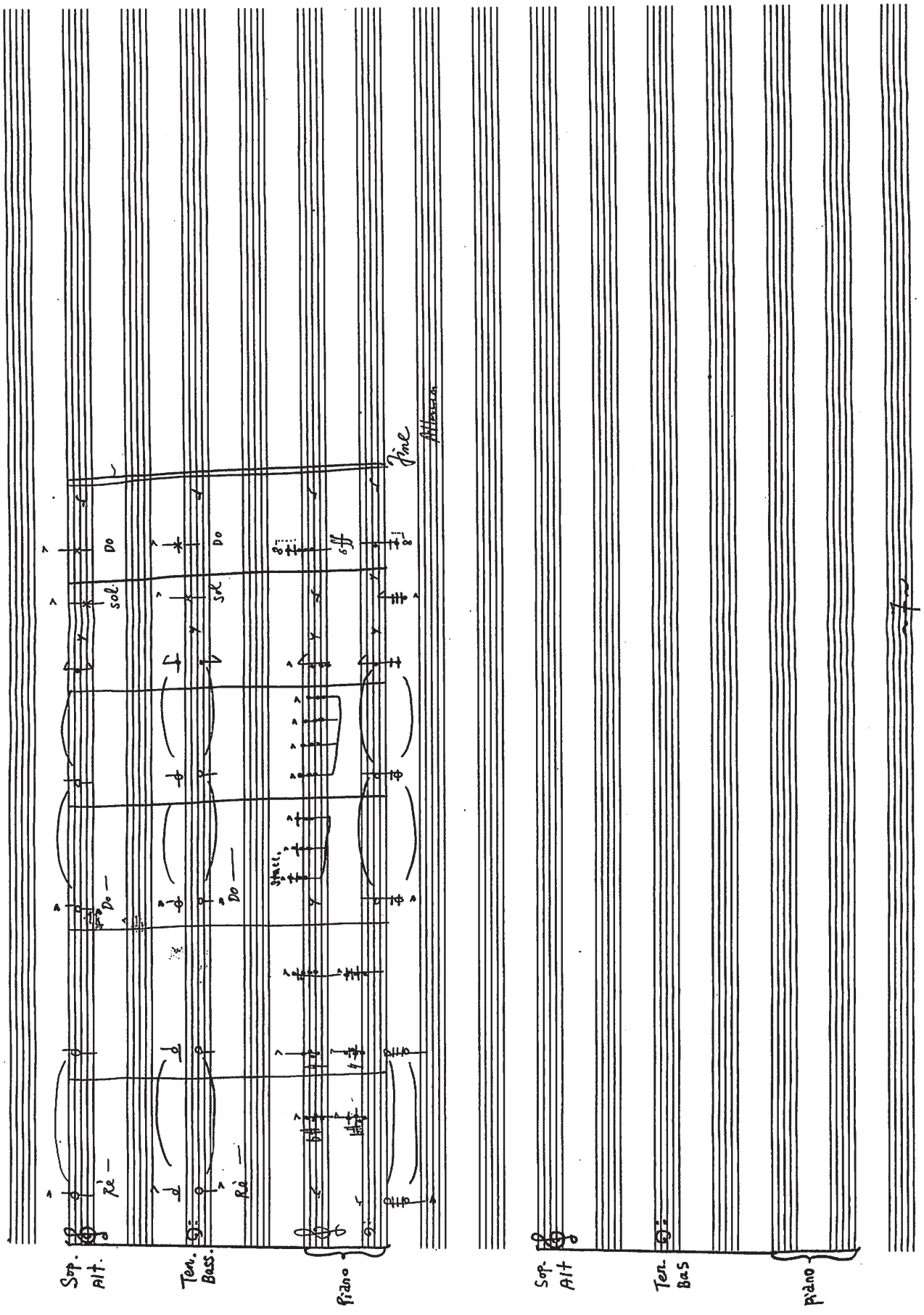

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano

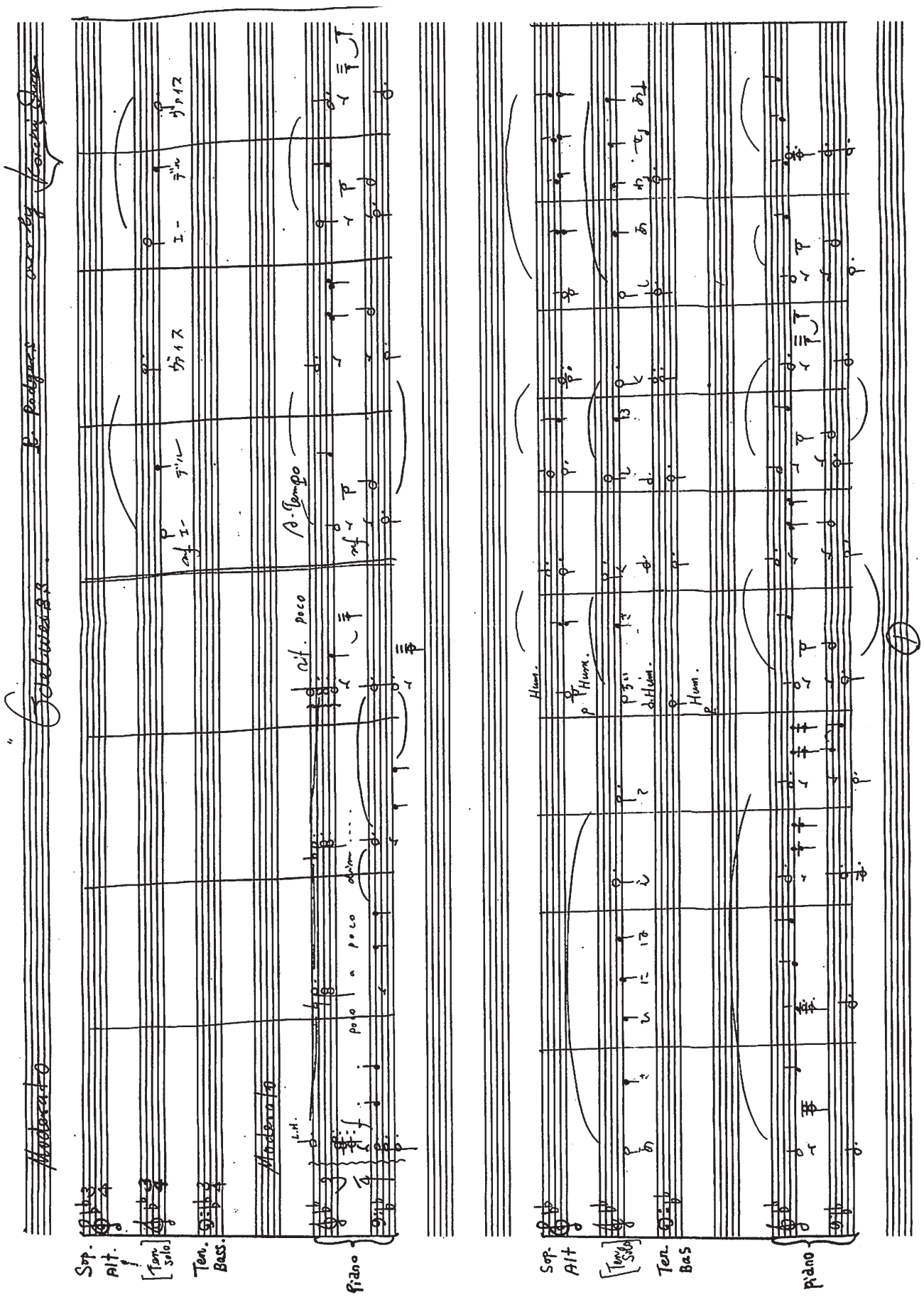

Sop. Alt.
Ten. Bass.
Piano
Sop. Alt
Ten. Bas
Piano

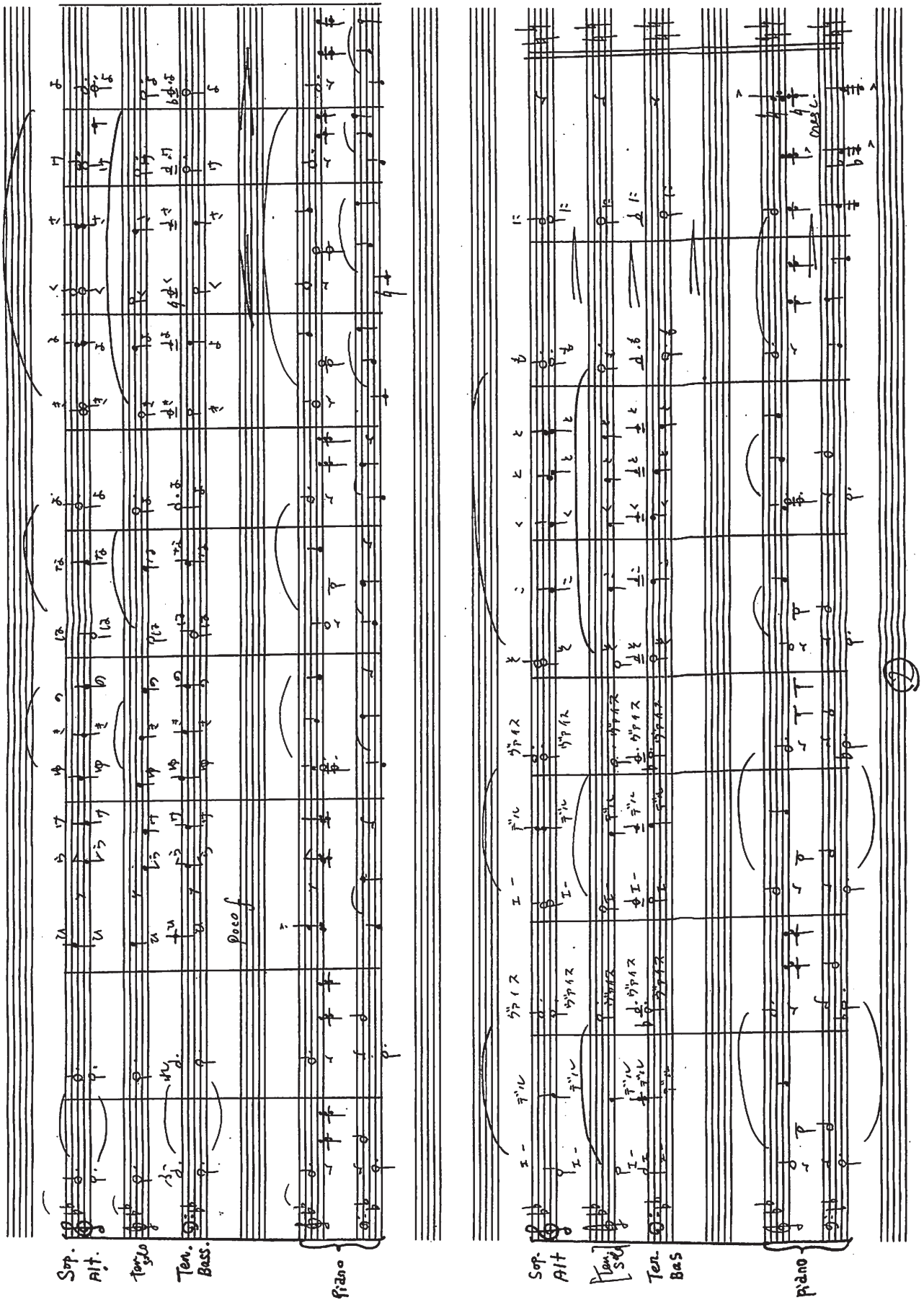

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano

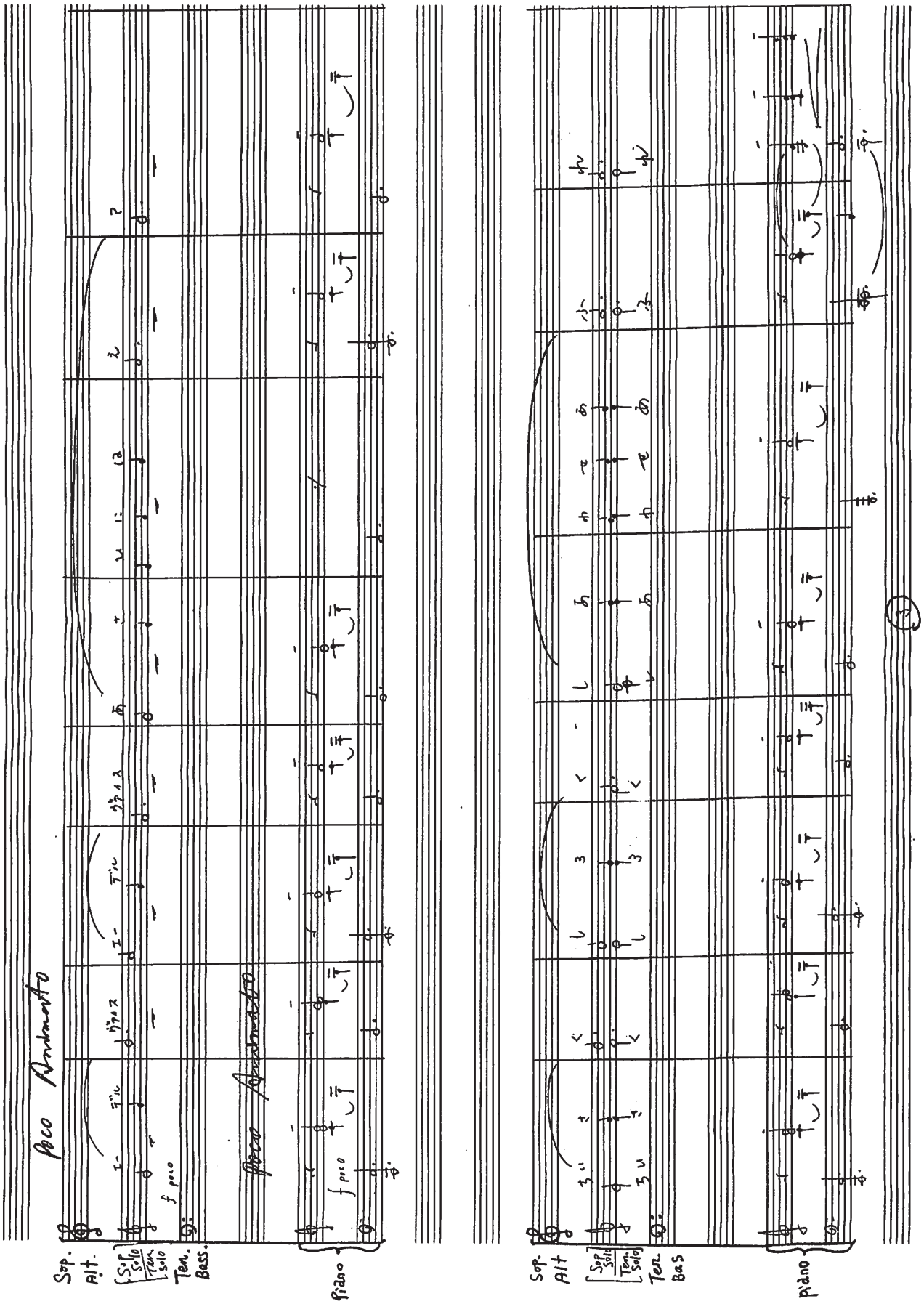

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
ff
poco dim.
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano
P.65 13小節～

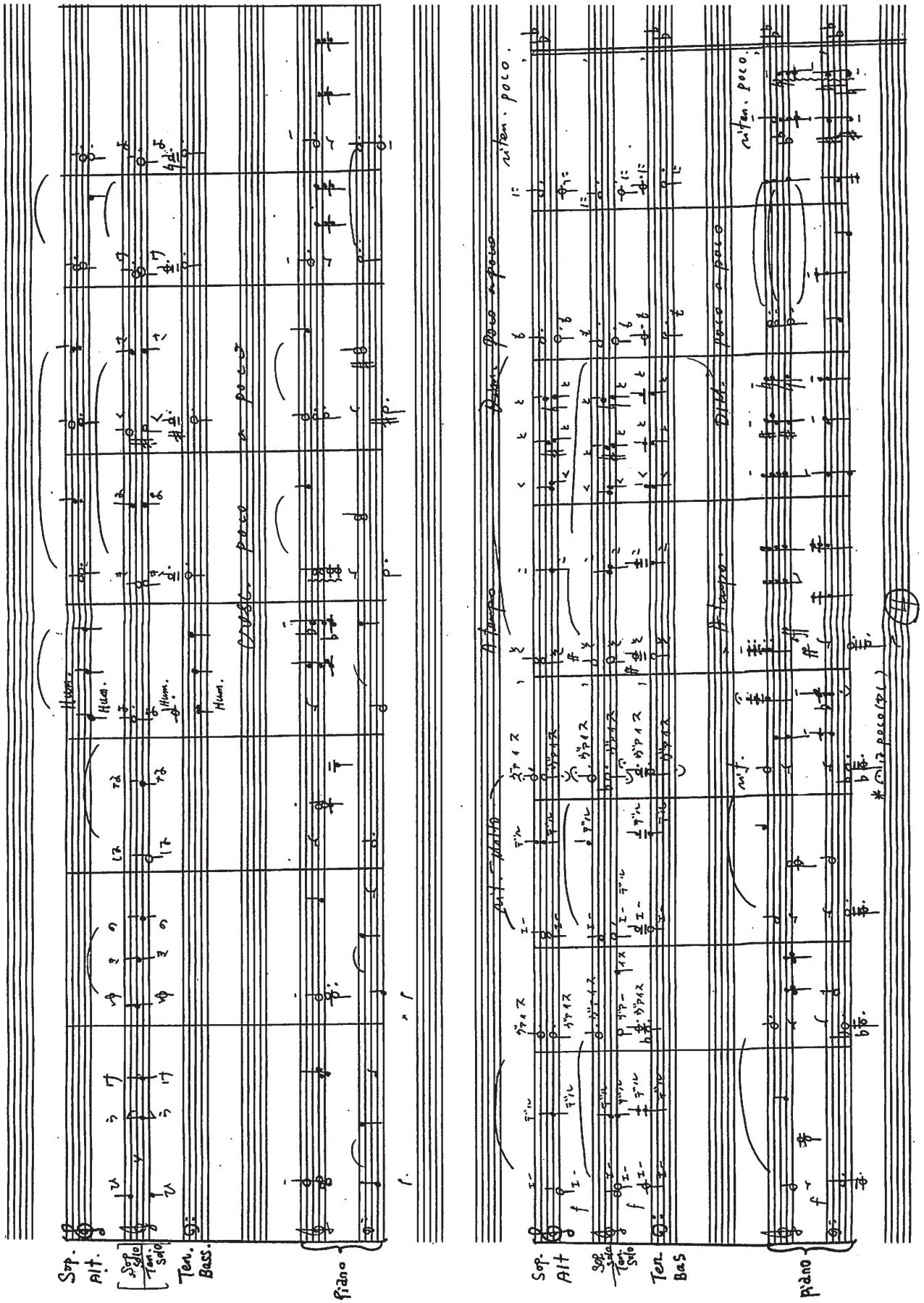

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano
D.C.

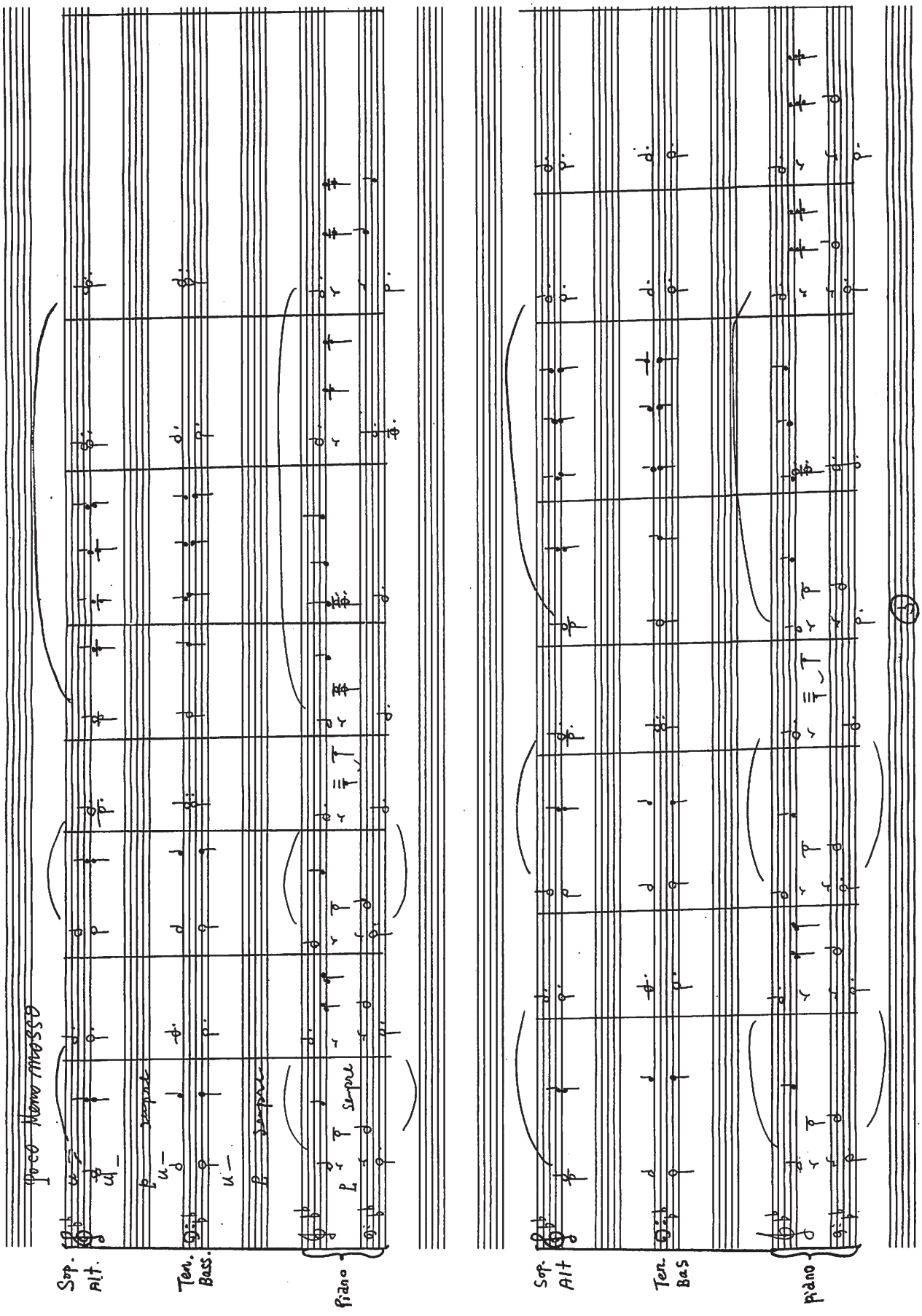

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Fine
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano

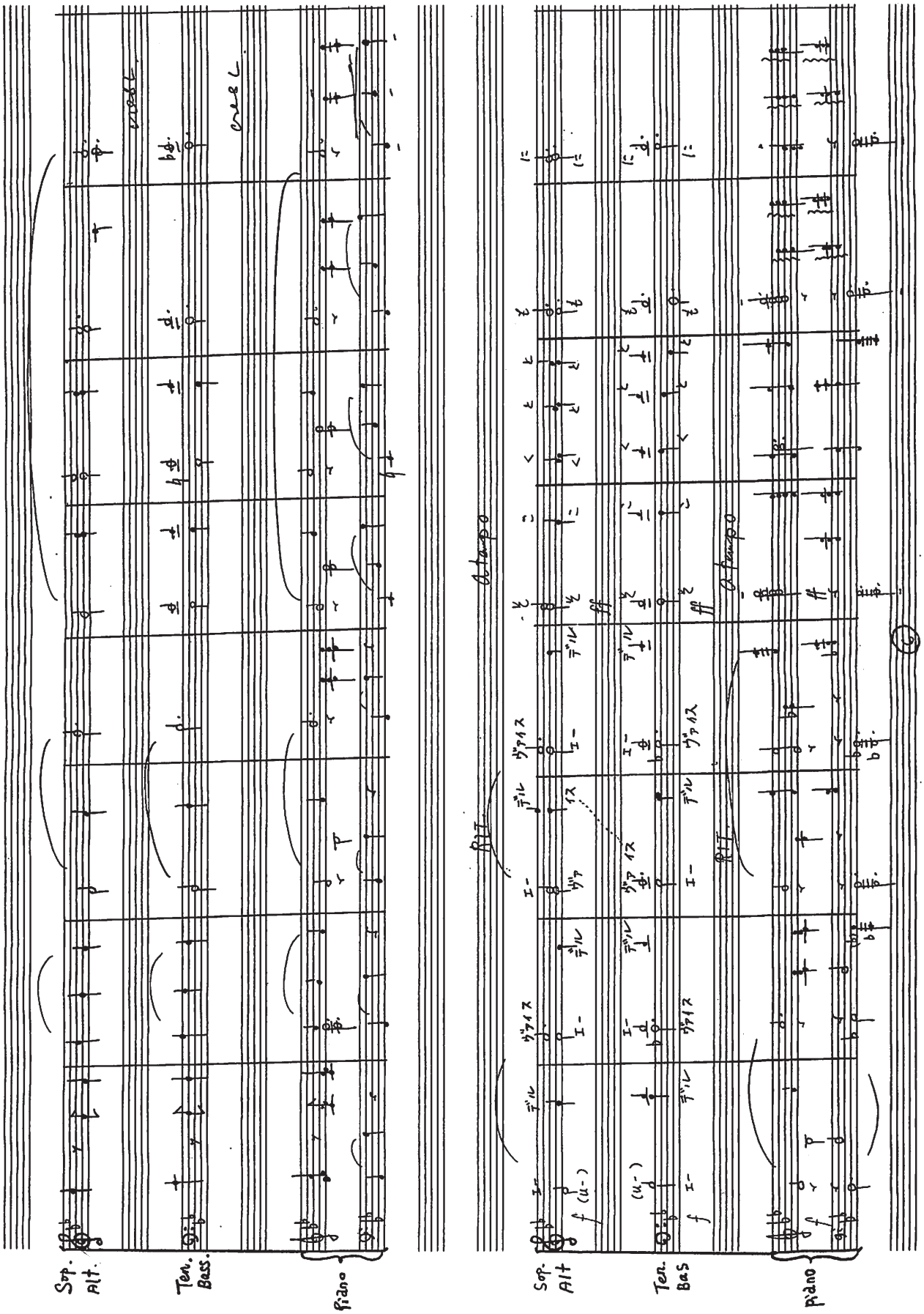

Moderato
Sop.
Alt.
[Ten. solo]
Ten.
Bass.
Piano
Moderato
poco a poco
Hum.
Sop.
Alt
[Ten. solo]
Ten.
Bas
Piano

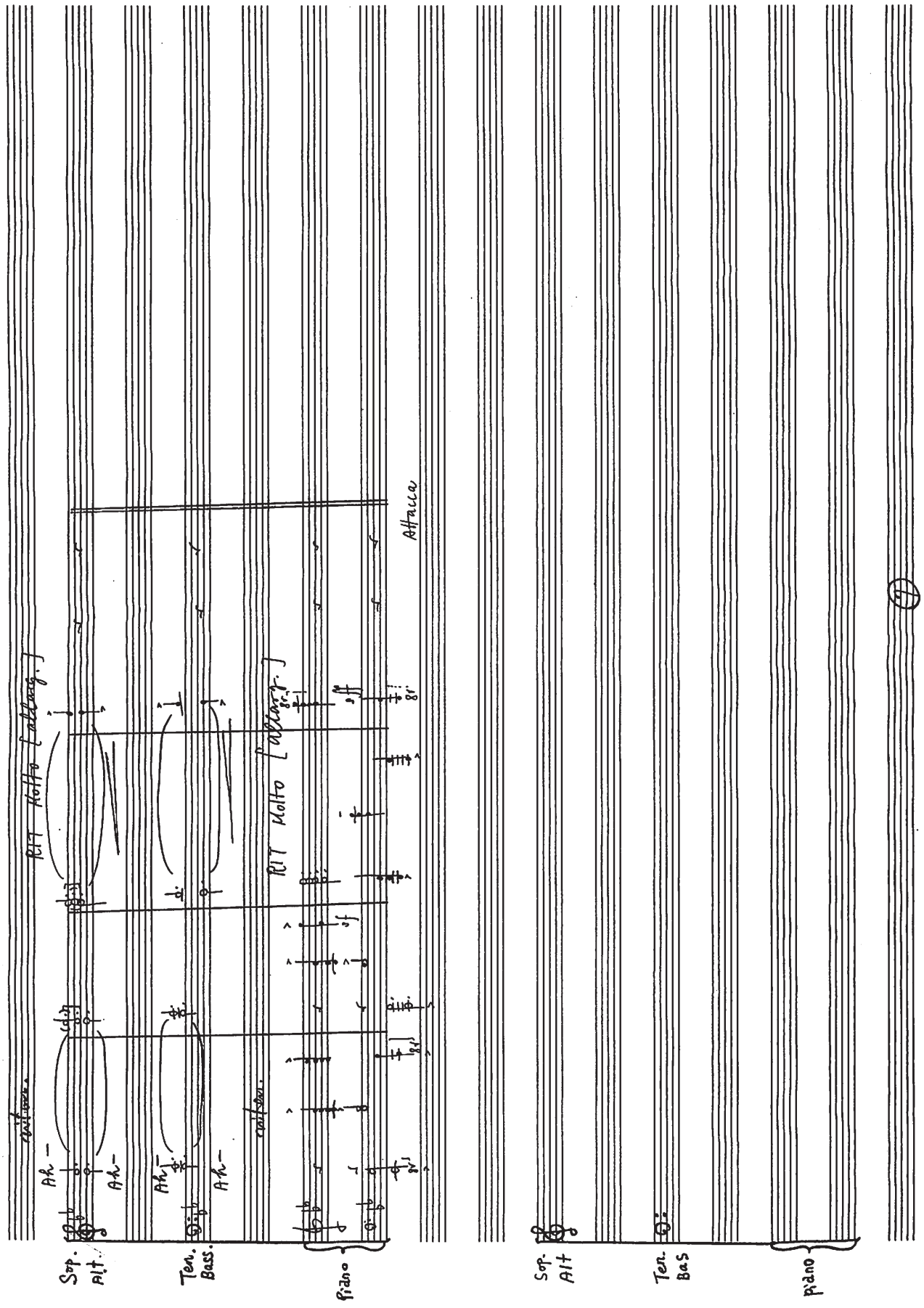

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
poco f
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano

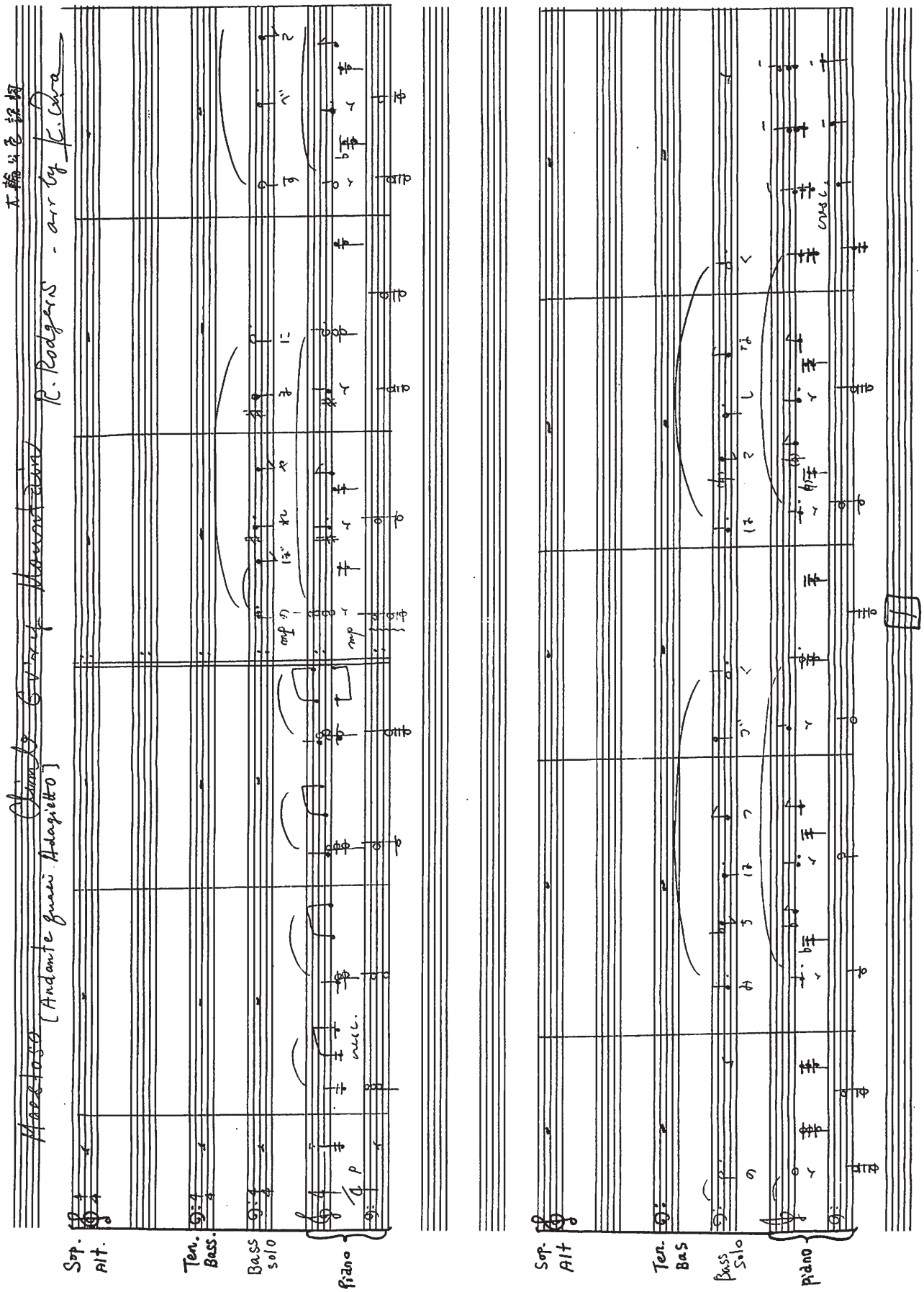

Poco Andante
Sop.
Alt.
Sop Solo
Ten. solo
Ten.
Bass.
Piano
f poco
Poco Andante
Sop.
Alt
Sop Solo
Ten. Solo
Ten.
Bas
Piano

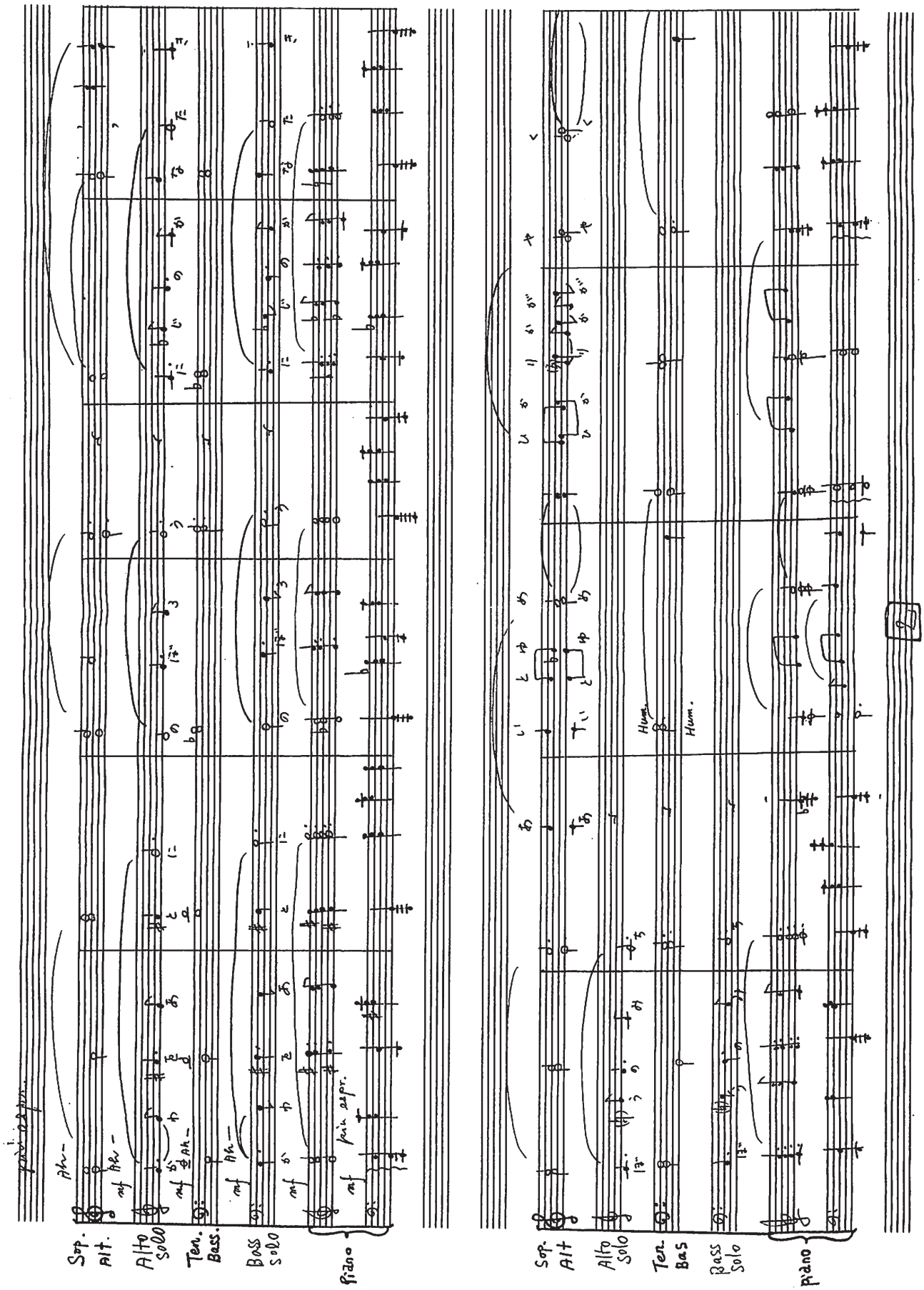

Sop.
Alt.
Sop. Solo
Ten. Solo
Ten.
Bass.
Piano
Hum.
Cresc. poco a poco
Sop.
Alt
Sop. Solo
Ten. Solo
Ten.
Bas
Piano
Atempo
Dim. poco a poco
riten. poco.

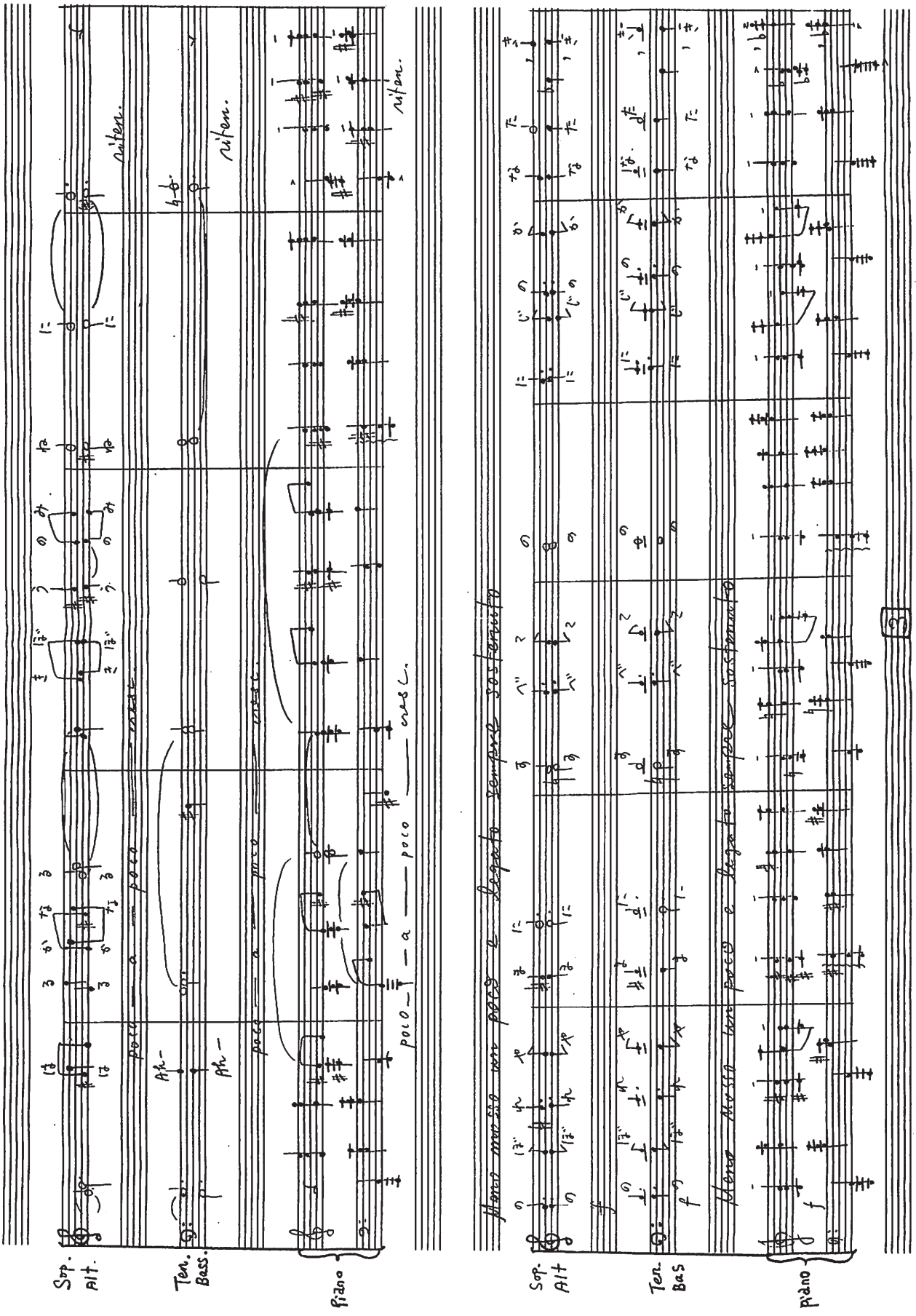

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten
Bas
Piano

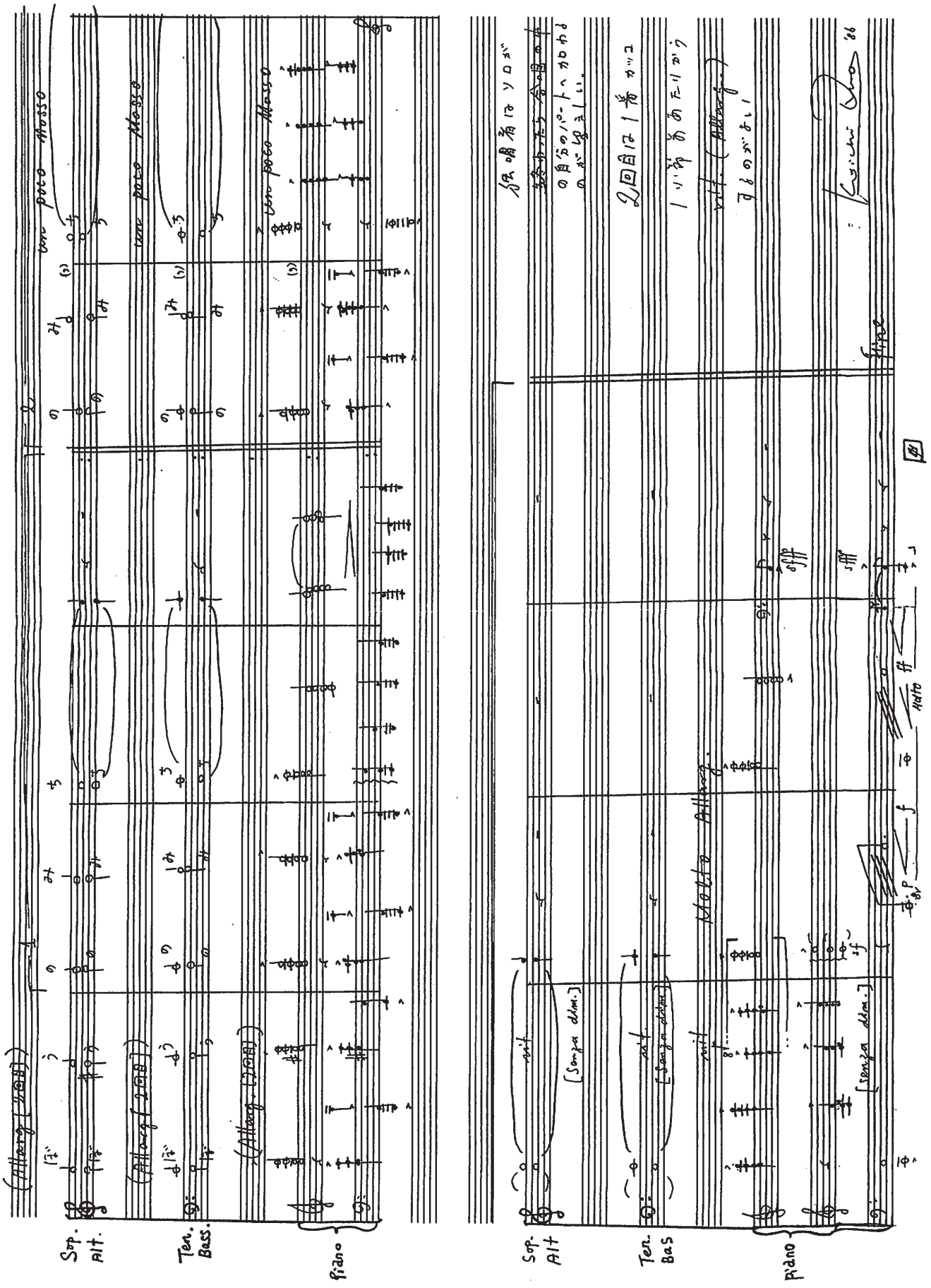

Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano


Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano
Ah
Attacca


Climb Every Mountain
[Andante quasi Adagietto]
R. Rodgers - arr by K. Chua
Sop. Alt.
Ten. Bass.
Bass solo
Piano
Sop. Alt
Ten. Bas
Bass Solo
Piano


Sop.
Alt.
Alto Solo
Ten.
Bass.
Bass Solo
Piano
Hum.
Hum.


Sop. Alt.
Ten. Bass.
Piano
riten.
poco a poco cresc.
Ah-
Meno mosso un poco e legato sempre sostenuto
Sop. Alt
Ten. Bas
Piano


Sop.
Alt.
Ten.
Bass.
Piano
Sop.
Alt
Ten.
Bas
Piano

３．おわりに

「サウンド・オヴ・ミュージック」への編曲には、数多くのアレンジが認められるが、オリジナル作品の質はいわゆるポピュラリティーへと傾斜しているという事実は否めない。しかし、楽曲にはその裡に高度なエクリチュール、和声やポリフォニーの“技”をまだ受け入れることが可能な空間を内包しているのであり、ここではその事実を少なからず確認できたのではないかと思う。ではガーシュウィンの作品ではどうであろう____。そのエクリチュールは研ぎ澄まされ、根本的に他の音符、編作は一切受け付けないのだ。真の第一級の作家、そしてその作品とはこういったものなのであろう。

参考文献

大輪公壱『ポピュラー・ソング「ビー・マイ・ラヴ」とその編作について』秋草学園短期大学紀要 25 号、平成 20 年（2008 年）。

Secrest,Meryle. *SOMEWHRE FOR ME A Biography of Richard Rodgers.*
New York:ALFRED A.KNOPE, 2001.

『サウンド･オヴ･ミュージック全曲集』東京：株式会社全音楽譜出版社　昭和 61 年（1986）。

≪サウンド・オブ・ミュージック≫ビクター・レコード SHP-5437

『クラシック・ポピュラー音楽辞典』東京：雄山閣　昭和 50 年（1975）。

『標準音楽事典』東京：音楽之友社、昭和 49 年（1971）。

Kennedy, Michael. *The Concise Oxford Dictionary of Music*.
New York:Oxford,1983.

Blom, Eric. *Grove's Dictionary of Music and Musicians*.
New York:St. Martin's Press Inc., 1970.

Sadie, Stanley. *The Grove Concise Dictionary of Music.*
London:Macmillan Press Ltd.,1988.